

**【小論文：一般入試 第1課題、自己推薦入試】**

あなたが今、森林林業に関することで最も重要だと考える課題を1つあげ、その理由とあなたが考える解決方法について400字程度で述べなさい。

**【小論文：一般入試 第2課題】**

我が国の木材自給率は資料－1のとおり、2023年に43%と直近で最も高い水準となりました。背景には資料－2のとおり森林資源の年々増加があります。

一方で、人口減少等により長期的に新設住宅着工が減少する可能性があります。

そこで、今後の木材需要を確保するために、あなたが考える木材利用方法を1つあげ、その理由を400字程度で述べなさい。

参考資料－1 令和6年度森林・林業白書概要版(抜粋)

参考資料－2 森林・林業・木材産業の現状と課題（抜粋）

**令和6年度  
森林・林業白書  
概要**

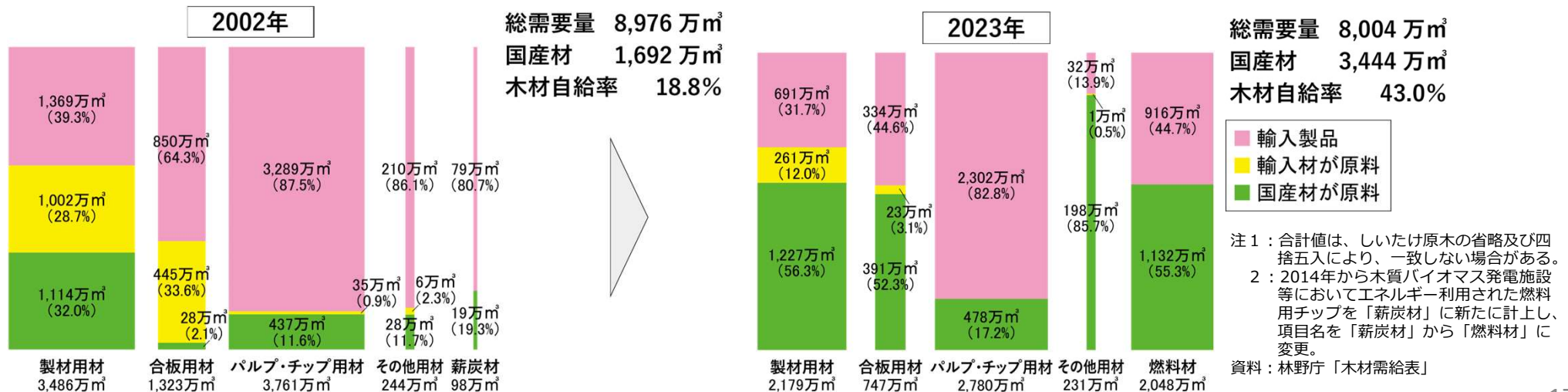
一部抜粋

**令和7年6月  
林野庁**

## 木材自給率は2023年に43%まで回復し、直近で最も高い水準。更なる自給率向上に向け、横架材など国産材率の低い部材における技術開発・普及等を推進

- 我が国の木材自給率は、国産材供給の減少と木材輸入の増加により低下が続いたが、2002年の18.8%を底に上昇傾向で推移。2023年の木材自給率は43.0%まで回復し、直近で最も高い水準。特に建築用材等においては、製材用材で56.3%、合板用材で52.3%となるなど5割超
- 自給率上昇の背景として、人工林資源の充実のほか、合板原料としての国産材利用の増加等。技術革新により間伐材等の小径木から合板の生産が可能となり、2002年頃から国産材利用が急速に進展
- また、2012年のFIT制度導入などにより、木質バイオマス発電施設の整備が各地で進み、燃料用チップ等の燃料材の利用量も年々増加していることも、国産材供給量増加の要因
- 製材では、木造軸組工法においてスギ集成材など国産材利用が進みつつあるほか、枠組壁工法構造用製材においても国産材率が上昇傾向。一方で、横架材では輸入材が高いシェア。更なる自給率向上に向け、国産材率の低い部材への国産材利用に向けた技術開発・普及等を推進
- 人口減少等により長期的に新設住宅着工が減少する可能性を踏まえ、中高層建築物等における木材利用の推進が重要

### 木材需給の構成の変化



# 森林・林業・木材産業の現状と課題

## 一部抜粋

令和7年12月

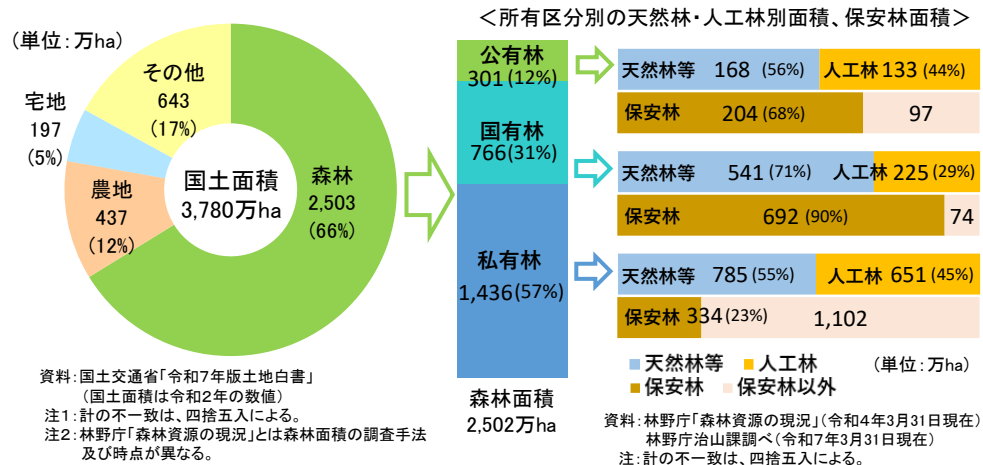
**林野庁**

# 1 総括

## ① 我が国の森林の概要について

- 我が国の森林面積は国土の3分の2に当たる約2,500万haであり、世界有数の森林国。森林蓄積は人工林を中心に毎年約6千万m<sup>3</sup>増加し、現在は約56億m<sup>3</sup>。
- 面積ベースで人工林の6割が50年生を超えて成熟し、利用期を迎えている。この豊富な資源を有効活用すると同時に、循環利用に向けて計画的に再造成することが必要。

### ■ 国土面積と森林面積の内訳



### ■ 世界との比較

#### ▶ OECD加盟国森林率上位10カ国

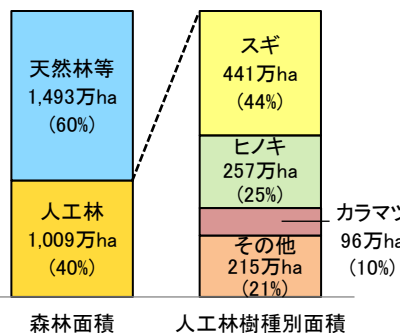
| 順位 | 国      | 森林面積   | 森林率  |
|----|--------|--------|------|
| 1  | フィンランド | 22,543 | 74.2 |
| 2  | スウェーデン | 27,934 | 68.6 |
| 3  | 日本     | 24,908 | 68.3 |
| 4  | 韓国     | 6,279  | 64.3 |
| 5  | スロベニア  | 1,244  | 61.8 |
| 6  | コスタリカ  | 2,990  | 58.6 |
| 7  | エストニア  | 2,447  | 57.3 |
| 8  | ラトビア   | 3,467  | 55.7 |
| 9  | コロンビア  | 59,457 | 53.6 |
| 10 | オーストリア | 3,904  | 47.3 |

#### ▶ 人工林面積上位10カ国

| 順位 | 国      | 人工林面積  | 人工林率 |
|----|--------|--------|------|
| 1  | 中国     | 92,603 | 40.8 |
| 2  | 米国     | 27,423 | 8.9  |
| 3  | ロシア    | 20,797 | 2.5  |
| 4  | カナダ    | 20,708 | 5.6  |
| 5  | インド    | 13,472 | 18.5 |
| 6  | 日本     | 10,077 | 40.5 |
| 7  | ブラジル   | 9,214  | 1.9  |
| 8  | スウェーデン | 8,699  | 31.1 |
| 9  | フィンランド | 7,836  | 34.8 |
| 10 | ポーランド  | 7,406  | 78.0 |

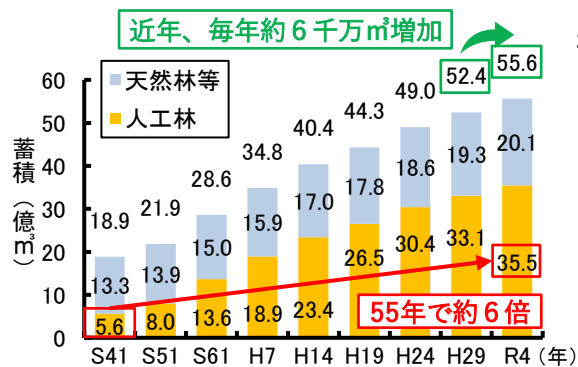
資料: FAO「世界森林資源評価2025」を元に林野庁作成。森林・人工林面積の単位は千ha、森林・人工林率は%。

### ■ 人工林の樹種別面積



資料: 林野庁「森林資源の現況」(令和4年3月31日現在)  
注: 計の不一致は、四捨五入による。

### ■ 森林蓄積の推移



資料: 林野庁「森林資源の現況」(令和4年3月31日現在)・林野庁業務資料

### ■ 人工林の林齢別面積

